

厚生労働省委託  
大学生のための「キャリア教育プログラム集」

【目次】

- I はじめに
- II 使い方
- III プログラム集の構成（ラインアップ）
- IV プログラムの構造
- V 本プログラム集の特徴
- VI キャリア教育プログラム
  - (1)自己理解
  - (2)職業情報
  - (3)その他（労働市場、労働法、ワークルール等）

※本プログラム集および各プログラムで使用するワークシート等は、厚生労働省のホームページにて、ダウンロード可能な形で公表している。

平成27年3月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング



## I はじめに

大学生のための「キャリア教育プログラム集」は、主として大学生を対象に大学でキャリア教育を行う指導者用に作成したモデルプログラム集です。

本プログラム集には、「職業興味の理論と解釈」「職業レディネステストを使った自己理解」「職業の中の仕事を探す（課業分析を通じて）」「キャリア・シミュレーション（失業や長時間労働などの困難への対処シミュレーション）」など、計 34 本のプログラムを収録しています。

### 【本プログラム集について】

本プログラム集は、効果的なキャリア教育を実施するため、必要な職業についての情報の付与や、キャリア・コンサルティングのツールやノウハウなど、労働行政が有する知見を活かしたキャリア教育のためのプログラムを開発することを目的に、平成 26 年度に厚生労働省が行った委託事業「平成 26 年度キャリア教育プログラム開発事業」の一環として、作成したものです。

本プログラム集は、本間啓二教授（日本体育大学）および室山晴美統括研究員（労働政策研究・研修機構）の協力のもとに作成し、「平成 26 年度キャリア教育プログラム開発事業に関する検討委員会」における検討を経て完成したものです。

＜平成 26 年度キャリア教育プログラム開発事業に関する検討委員会＞

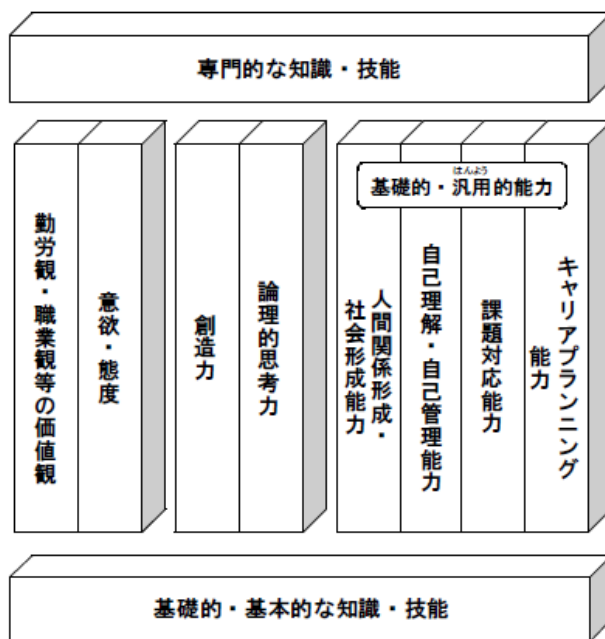
（◎印座長 50 音順・敬称略）

- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| ◎ 本間 啓二 | 日本体育大学 教養・教職科 教授        |
| 川崎 友嗣   | 関西大学 社会学部 教授            |
| 栗原 清一   | クリロン化成株式会社 代表取締役社長      |
| 児美川 孝一郎 | 法政大学 キャリアデザイン学部 教授      |
| 坂井 徹    | 株式会社アイガ 代表取締役 CEO       |
| 室山 晴美   | 独立行政法人労働政策研究・研修機構 統括研究員 |
- （オブザーバー）  
文部科学省 高等教育局  
（事務局）  
厚生労働省 職業能力開発局 育成支援課 キャリア形成支援室  
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 経済・社会政策部（委託先事業者）

## Ⅱ 使い方

- 本プログラム集は、主として大学生を対象に大学でキャリア教育を行う指導者の方に授業を考える上での参考としていただくことを目的に作成したモデルプログラム集です。
- 本プログラム集は、キャリア教育プログラムの全域を網羅するものではありません。これまで厚生労働省等が開発してきた各種ツールを核としながら、「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」<sup>1</sup>を高めるような教育プログラムとして作成したものです。
- ついては、本プログラム集のプログラムは、キャリア教育プログラムのメニューの一部として取り入れていただくことを想定しています。1プログラムあたりの所要時間は90分を目安に作成しています。したがって、15プログラムを選んで、半期15コマの講座を作ることもできますし、単発あるいは数プログラムを選んで講座に取り入れていただくこともできます。
- あくまで参考として作成し提供しているものですので、本プログラムをそのままご利用いただくのでも、学生や地域の状況等に合わせてカスタマイズしてご利用いただくのでもかまいません。

図表 1 「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」の要素



(出所) 中央教育審議会 (2011) 『今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について』

<sup>1</sup> 中央教育審議会 (2011) 『今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について』

### Ⅲ プログラム集の構成（ラインアップ）

本プログラム集には、「職業興味の理論と解釈」「職業レディネステストを使った自己理解」「職業の中の仕事を探す（課業分析を通じて）」「職業生活での様々な問題を考える（キャリアシミュレーション・プログラム）」など、計 34 本のプログラムを収録しています。

本プログラム集の構成（ラインアップ）は下記のとおりです。

知識・理解を深めてもらいたい分野の別から、「自己理解」「職業理解」「その他（（労働市場、労働法、ワークルールほか））」の大きく 3 つのジャンルに分類しています。

なお、プログラムの中には、たとえば「A-1」「A-2」「A-3」など、セットにして取り入れることで、職業興味の理解と解釈についての説明から、職業レディネステストの実施、その結果を使ったグループワークまでを一通り行う授業とすることができるものもありますが、もちろん「A-1」だけを取り入れたり、あるいは「A-2」と「A-3」だけ組み合わせて実施することも可能です。

#### A. 自己理解（12本）

No.	テーマ	実施時期
A-1	職業興味と自己理解 1 (理論と解釈)	1 年後期～3 年前期 (A-2、A-4 又は A-5 の前が望ましいが、後でも可)
A-2	職業興味と自己理解 2 (職業レディネステストの実施)	1 年後期～3 年前期 (A-1 の後が望ましい)
A-3	職業興味と自己理解 3 (職業レディネステストの結果を使ったグループワーク)	1 年後期～3 年前期 (A-2 の後)
A-4	VRT カードを使った自己理解 1 (興味)	1 年後期～3 年前期 (A-2 の後が望ましい)
A-5	VRT カードを使った自己理解 2 (自信)	1 年後期～3 年前期 (A-2 の後が望ましい)
A-6	VRT カードを使った自己理解 3 (結果を使った分析)	1 年後期～3 年前期 (A-4 又は A-5 の後)
A-7	OHBY カードを使った自己理解の深化 1 (OHBY カードの実施)	1 年後期～3 年前期
A-8	OHBY カードを使った自己理解の深化 2 (OHBY カード実施後の発表)	1 年後期～3 年前期 (A-7 の後)
A-9	働くための能力、興味、価値観を知る (キャリア・インサイト 1)	2 年～3 年
A-10	働く時の行動特性や性格・傾向を知る (キャリア・インサイト 2)	2 年～3 年
A-11	職業への興味や能力から適職を探索 (キャリア・インサイト 3)	2 年～3 年
A-12	将来のキャリア・プランを考える (キャリア・インサイト 4)	2 年～3 年

B. 職業理解（11本）

No.	テーマ	実施時期
B-1	職業の中の仕事を探す (課業分析を通じて)	1年～3年
B-2	職業（アルバイト等）の職務分析	2年～3年 (B-1の後が望ましい)
B-3	職業インタビュー	1年～3年
B-4	職業の世界を知る (ハローワークインターネットサービスの活用1)	2年～3年
B-5	職業調べ (ハローワークインターネットサービスの活用2)	2年～3年
B-6	様々な働き方について学ぶ (TOKYOはたらくネット・ポケット労働法)	3年～4年
B-7	資格・免許について学ぶ (資格サイトの活用)	2年～3年 (B-3又はB-5の後が望ましい)
B-8	社会人インタビュー情報から学ぶ1	3年～4年
B-9	社会人インタビュー情報から学ぶ2	3年～4年
B-10	社会人インタビュー情報から学ぶ3	3年～4年
B-11	社会人インタビュー	3年～4年 (B-8、B-9、B-10のいずれかの後が望ましい)

C. その他（労働市場、労働法、ワークルールほか）（11本）

No.	テーマ	実施時期
C-1	ディスクジョッキーへの悩み相談 (事例を使った課題解決)	1年～3年
C-2	学生相談ケーススタディ	1年後期～2年後期
C-3	就労相談ケーススタディ	3年後期～4年
C-4	職業生活での様々な問題を考える (キャリアシミュレーション・プログラム)	2年～4年
C-5	労働問題アドバイザーになろう (アルバイト)	3年～4年
C-6	労働問題アドバイザーになろう (就職問題)	3年～4年
C-7	ワーク・ルールについて学ぶ (TOKYOはたらくネット・ポケット労働法)	3年～4年

No.	テーマ	実施時期
C-8	就職率、離職率や労働市場について学ぶ	3年～4年
C-9	就職のための求人情報と応募書類について知る	4年
C-10	ジョブ・カード(キャリア・プランシート(就業経験のない方、学卒者等用))について知る	4年
C-11	職業訓練について学ぶ	3年～4年

#### IV プログラムの構造

各プログラムは、原則として以下のような構造となっています。

1. 概要	
タイトル ・使用するツール ・ねらい ・実施学年 ・実施時期 ・適正人数 ・実施手順 ・評価観点 ・資料構成 /等	高めることが期待される能力 「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」
2. 授業用ワークシート	
3. 授業用説明資料(投影用パワーポイント資料、配付用資料等)	

## V 本プログラム集の特徴

本プログラム集のプログラムは、次のような特徴を持っています。これらの特徴をご理解の上、ご利用ください。

### ■キャリア教育プログラム作成の基本方針■

- 厚生労働省開発のツールその他を活用したキャリア教育プログラムを作成する。
- グループワークを導入し、話し合い活動を通してコミュニケーション能力や関係構築力などの社会性の発達を促す。
- アクティブラーニングの学習方法を取り入れ、キャリア教育で求められる基礎的・汎用的能力の向上を図る。
- ワークシートを作成し、学習の流れや課題、学習方法を明確にする。
- 学習過程を通して身につく能力の概要を示す。
- 知識・理解を深めてもらいたい分野の別から、学習内容を「自己理解」「職業理解」「その他（労働市場、労働法、ワークルールほか）」に大別し、プログラム選択の基準を明確にする。
- 1プログラムあたりの所要時間が90分となるようプログラムを作成する。
- 1～3プログラムで1つのまとまりをもった授業が実施できるようにする。ただし、必ず3プログラムをセットにして実施しないとできないものではなく、単発（1プログラム）でも実施できるように作成する。
- プログラムの組み合わせが自由にできるようにする。
- 正課の授業として取り入れるだけでなく、キャリアセンター等が行う講座と関連づけて実施できるようにする。



## VI キャリア教育プログラム

※各プログラムのワークシート類は別にまとめる。

### 1. 自己理解

#### 【A-1】職業興味と自己理解1（理論と解釈）

自己理解				基礎的・汎用的能力					勤労観・職業観			
テーマ	A-1 職業興味の理論と解釈			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応		キャリアアプラン	論理的思考力	創造力
ツール	職業レディネステスト、VRTカード											
ねらい	① ホランダの職業興味領域の分類に基づいて自己理解を深める。 ② グループ活動による相互理解と対話力・コミュニケーション能力の向上。											
実施学年	1年生後期～3年生前期											
実施時期	職業レディネステスト(A-2)、VRTカード(A-4、A-5)の前が望ましいが、後でも可											
適正人数	60名～120名											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	5分	パワポを準備し、ホランド理論の講義、ワークシートによる個人作業とグループにまとまって発表する授業の流れと授業のねらいについて説明する。								
	②	職業興味領域の講義	35分	職業選択における興味領域の重要性について解説し、ホランダの6領域についてパワポを使って説明する。受講生はワークシート1. に要点をまとめさせる。								
	③	ワークシート「2. 好きなことの書き出し」	5分	これまでの経験から自分の好きなことや関心のあることを各自ワークシートの2. に書き出す。								
	④	ワークシート「3. 職業興味の評価」	5分	ワークシートの3. において、6領域の職業興味について10段階で自己評価し、隣り合わせた興味領域を線でつなぎ、折れ線グラフを作る。								
	⑤	ワークシート「4. 職業興味の志向性」	10分	ワーク2. の自分の興味関心の特徴やワーク3. のグラフなどを振り返り自分の職業的志向性について各自で考えまとめる。								
	⑥	グループ編成(3～5人)	5分	3～5人のグループを近くの受講者同士でつくる。								
	⑦	グループ内での発表	20分	ワーク4. の職業興味の志向性とワークの感想についてグループ内で発表する。								
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認の質問をする。								
評価観点	① ホランダの職業興味領域の分類に基づいて自己理解を深められたか。											
	② 相互理解と対話力・コミュニケーション能力が向上できたか。											
資料	①	「職業興味から見た自己理解」ワークシート	講義のメモをとり、自己理解のワークを行うためのワークシート。									
	②	パワーポイント資料	職業興味領域の講義で使用する。									
	③											
	④											
	⑤											
備考	職業レディネステスト(A-2)、VRTカード(A-4、A-5)の実施後に行うこともできる。											
	本時を実施しない場合は、職業レディネステスト(A-2)実施後の「結果の見方・生かし方」実施時に解説を加える必要がある。											

【A-2】職業興味と自己理解2（職業レディネステストの実施）

自己理解			基礎的・汎用的能力						勤労観・職業観		
テーマ	A-2 職業レディネステストを使った自己理解1(実施)		人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン		論理的思考力	創造力
ツール	職業レディネステスト										
ねらい	① 職業興味検査の実施を通して、職業に対する興味の志向性を理解する。 ② 検査結果を集計し、プロフィールを作成し判断する作業を通して、自らの職業適性の理解を深めるとともに、職業を興味領域から分析的に解釈できるようにする。										
実施学年	1年生後期～3年生前期										
実施時期	職業興味の理論と解釈(A-1)の実施後が望ましい										
適正人数	60名～120名										
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項							
	①	本時の説明(本検査の概要と実施のねらい)	5分	問題用紙と回答用紙を配布し、ねらいについて説明する。(パワーポイント使用)							
	②	実施方法の説明	10分	問題用紙に沿って実施手順について説明する。(パワーポイント使用)							
	③	検査の実施	20分	個別実施であるが、ペースを揃えたい場合には、問題を読み上げ全員一緒に実施させる。							
	④	採点の実施と「結果の見方・生かし方」のWORK1の説明	15分	回答用紙で採点・整理し、「結果の見方・生かし方」を配布し説明する。(パワーポイント使用)							
	⑤	採点と「結果の見方・生かし方」の実施	35分	「結果の見方・生かし方」を使ってWORK1～WORKプラスまでを実施する。(パワーポイント使用)							
	⑥	講師からのコメント	5分	時間内にできなかったワークは宿題にして、次回までに仕上げて持参する。本時のねらいが達成できたか確認する。							
評価観点	① 職業興味検査の実施を通して、職業に対する興味の志向性が理解できたか。										
	② 自らの職業適性の理解を深めるとともに、職業を興味領域から分析的に解釈できるようになったか。										
資料	①	職業レディネス・テスト問題用紙	1冊160円（雇用問題研究会）								
	②	職業レディネス・テスト回答用紙	1枚 30円（雇用問題研究会）								
	③	「結果の見方・生かし方」	1冊 80円（雇用問題研究会）								
	④	大学生等のための職業リスト	1冊 50円（雇用問題研究会）								
	⑤	パワーポイント資料	解説用のパワーポイントで授業中に使用する。								
	⑥	職業レディネス・テスト【第3版】手引	1冊1300円（雇用問題研究会） （実施者が実施方法や検査の内容について理解が不足している場合に事前に学ぶときに使用する） 実施担当者用セミナー <a href="http://www.koyoerc.or.jp/school/seminar/207.html">http://www.koyoerc.or.jp/school/seminar/207.html</a>								
備考	本時では検査の実施だけにして、次時に「結果の見方・生かし方」を実施してもよい。										
	本時のみの実施も可能。										
	職業興味の理論と解釈(A-1)を実施しない場合は、「結果の見方・生かし方」実施時に解説を加える。										

【A-3】職業興味と自己理解3（職業レディネステストの結果を使ったグループワーク）

自己理解				基礎的・汎用的能力													
テーマ	A-3 職業レディネステストの結果を使った自己理解2			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観				
ツール	職業レディネステスト																
ねらい	① 職業レディネステストの結果を使って、職業興味の高い領域や低い領域に関連するこれまでの経験や出来事を通して自己理解を深めていく。																
	② グループ活動による相互理解と対話力・コミュニケーション能力の向上。																
実施学年	1年生後期～3年生前期																
実施時期	職業レディネステスト(A-2)の実施後																
適正人数	60名～120名																
実施手順	学習の流れ		時間	留意事項													
	①	本時の説明 「資料③学習の流れ」(1)グループづくりとワークシートの配布	5分	「VRT結果の見方・生かし方」を各自、用意する。4～6人のグループをつくる。本時のねらいについて説明する。	○												
	②	同(2) VRT結果の興味と自信の標準得点をワークシートに書き入れ、85以上の高い領域に○をつける	15分	「VRT結果の見方・生かし方」を再度見直し、内容を良く確認し、メンバーで見せ合うことで他人との違いから自己理解を深める。													
	③	同(3) 基礎的志向性も同様に標準得点を書き、下位尺度の○の数も書き写す		「VRT結果の見方・生かし方」を使って書き写す。													○
	④	同(4) 興味と自信の高い上位3位までの領域名を書き、低い領域も書き入れる		「VRT結果の見方・生かし方」を使って書き写す。													
	⑤	同(5) 興味や自信の領域に関連したこれまでの出来事や経験を思い出して書き入れる	20分	個人ワークとして各自で考えさせる。書けなければ思い出せる箇所だけでも良い。	○	○	○	○	○			○					○
	⑥	同(6) グループの中で順番を決めて興味領域とこれまでの出来事や経験について発表する	20分	グループ内で高い順位の興味領域や低い興味領域に関連する出来事について順番に発表する。	○	○	○	○	○			○					○
	⑦	同(7) 同様に自信領域とこれまでの出来事や経験について発表	20分	グループ内で高い順位の自信領域や低い自信領域に関連する出来事について順番に発表する。	○	○	○	○	○			○					○
	⑧	同(8) メンバーの発表を聞いて気付いたことをワークシートに書く	5分	自分の考えとメンバーの考えとの相違点・類似点について考える。	○	○	○	○	○			○					○
	⑨	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。													
評価観点	① 職業興味の高い領域や低い領域に関連するこれまでの経験や出来事を通して自己理解を深めることができたか。																
	② グループ活動を通して、相互理解と対話力・コミュニケーション能力が向上したか。																
資料	①	職業レディネステスト「結果の見方・生かし方」	職業レディネステスト実施で使用したワークシート														
	②	「職業レディネステストの結果と経験の棚卸しによる自己理解」	ワークシート(A4判)														
	③	「学習の流れ」	学習の流れを学生自身がチェックするワークシート(A4判)														
	④																
	⑤																
備考	学習の進行をグループに任せ、時間管理を学生自身に行わせるとよい。																
	職業レディネステスト(A-2)の実施後でなければ実施できない。																

【A-4】VRTカードを使った自己理解1（興味）

自己理解				基礎的・汎用的能力									
テーマ	A-4 VRTカードを使った自己理解1(興味)			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
ツール	VRTカード												
ねらい	① カードソート法による職業興味の志向性について自己理解を深める。 ② ペア学習を通して、コミュニケーション能力を高め相互理解を深める。												
実施学年	1年生後期～3年生前期												
実施時期	職業レディネステスト(A-2)の実施後が望ましい												
適正人数	40名～80名												
実施手順	学習の流れ	時間	留意事項										
	① 本時の説明(カードソート法の概要、実習のねらい)	10分	授業の流れと授業のねらいについて説明する。						○				○
	② 実施方法の説明	5分	興味のみ実施し、ペアで読み上げ方式でおこなう。						○				○
	③ カードと資料の配付	5分	二人一組のペアとなり、VRTカードを1人1セットずつ、またはペアごとに1セット配布する。										
	④ カードソート法の実習(職業興味による分類)	20分	実施者は職務内容が書かれているカードのおもて面(番号とカードの内容)を一枚ずつ読み上げ、受検者(ペア)に手渡す。受検者はその内容に興味があれば「やりたい」、興味がなければ「やりたくない」、判断ができなければ「どちらともいえない」に分類する。一人が済んだら役割を交代して実施する。		○	○	○		○				○
	⑤ 分類結果の記録	10分	54枚すべてのカードの分類が終了したら、結果・記録シートを使って分類結果を結果・記録シートに記録する。「やりたい」に分類されたカードの番号をシートの表で見つけて○をつけていく。「どちらともいえない」「やりたくない」についても同様に行う。パートナーにカード番号を読んでもらってもよい。		○	○	○		○				○
	⑥ 解釈の方法の説明	5分	「結果・整理シート」を配布し実施方法を説明する。						○				○
	⑦ 自分とパートナーの結果の解釈	30分	「やりたい」に分類されたカードを裏返し、職業興味の6領域(RIASEC)の記号ごとに、結果・整理シートの周りに並べる。各領域に何枚のカードがあるか、どんな内容のカードが多いか、興味のある領域には他にどんな仕事があるかなどを実施者と受検者が対話形式で確認する。「どちらともいえない」「やりたくない」に分類されたカードについても同様に行う。終わったら交代して同様に実施する。		○	○	○		○				○
	⑧ 講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。道具とシートは回収(次回にも使用のため)。次回は自信で分類することを予告。						○				
評価観点	① 実習を通して自己理解を深められたか。 ② パートナーと協調して作業を行うことができたか。												
資料	① VRTカード	本体 800円＋税(労働政策研究・研修機構)											
	② 結果・記録シート	カードを選択した結果を記録しておくシート 結果・記録シートセット(A4判/20枚入) 本体 100円＋税											
	③ 結果・整理シート	選択した結果を6角形の領域において志向性について解釈するシート 結果・整理シートセット(A3判/20枚入) 本体 200円＋税											
	④ その他の関連販売(労働政策研究・研修機構)	利用の手引 本体 500円＋税(事前に実施方法を学ぶために必要) カードセット(セット内容):カード、結果・記録シート(A4判)1枚、結果・整理シート(A3判)1枚 本体 900円＋税											
	⑤ VRTカード事例集—VRTカードの活用と実践に向けて—(ダウンロード)	<a href="http://eforum.il.go.jp/institute/seika/vrtcard/case/index.htm">http://eforum.il.go.jp/institute/seika/vrtcard/case/index.htm</a>											
備考	少人数であったり、実施者が慣れている場合は、「興味」(A-4)と「自信」(A-5)の両方を実施することもできる。 利用の手引を事前に読んで、VRTカードの内容を理解しておく必要がある。												

【A-5】VRTカードを使った自己理解2（自信）

自己理解				基礎的・汎用的能力						人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
テーマ	A-5 VRTカードを使った自己理解2(自信)																		
ツール	VRTカード																		
ねらい	① カードソート法による職業的自信の志向性について自己理解を深める。 ② ペア学習を通して、コミュニケーション能力を高め相互理解を深める。																		
実施学年	1年生後期～3年生前期																		
実施時期	職業レディネステスト(A-2)の実施後が望ましい																		
適正人数	40名～80名																		
実施手順	学習の流れ		時間	留意事項															
	①	本時の説明(カードソート法の概要、実習のねらい)	10分	授業の流れと授業のねらいについて説明する。															
	②	実施方法の説明	5分	自信のみ実施し、ペアで読み上げ方式でおこなう。															
	③	カードと資料の配付	5分	二人一組のペアとなり、一人1セットずつ配布かペアごとにVRTカード一組を配布する。															
	④	カードソート法の実習(職業興味による分類)	20分	実施者は職務内容が書かれているカードのおもて面(番号とカードの内容)を一枚ずつ読み上げ、受検者(ペア)に手渡す。受検者はその内容にうまくできる自信があれば「自信がある」、自信がなければ「自信がない」、判断ができなければ「どちらともいえない」に分類する。一人が済んだら役割を交代して実施する。															
	⑤	分類結果の記録	10分	54枚すべてのカードの分類が終了したら、結果・記録シートを使って分類結果を結果・記録シートに記録する。「自信がある」に分類されたカードの番号をシートの表で見つけて○をつけていく。「どちらともいえない」「自信がない」についても同様に行う。パートナーにカード番号を読んでもらってもよい。															
	⑥	解釈の方法の説明	5分	「結果・整理シート」を配布し実施方法を説明する。															
	⑦	自分とパートナーの結果の解釈	30分	「自信がある」に分類されたカードを裏返し、職業興味の6領域(RIASEC)の記号ごとに、結果・整理シートの周りに並べる。各領域に何枚のカードがあるか、どんな内容のカードが多いか、自信のある領域には他にどんな仕事があるかなどを実施者と受検者が対話形式で確認する。「どちらともいえない」「自信がない」に分類されたカードについても同様に行う。終わったら交代して同様に実施する。															
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。VRTカードは回収する。次回は興味と自信で分類することを予告する。															
評価観点	① カードソート法の実習を通して自己理解を深められたか。																		
	② パートナーと協調して作業を行うことができたか。																		
資料	①	VRTカード		本体 800円＋税(労働政策研究・研修機構)															
	②	結果・記録シート		カードを選択した結果を記録しておくシート 結果・記録シートセット(A4判/20枚入) 本体 100円＋税															
	③	結果・整理シート		選択した結果を六角形の領域において志向性について解釈するシート 結果・整理シートセット(A3判/20枚入) 本体 200円＋税															
	④	その他の関連販売(労働政策研究・研修機構)		利用の手引 本体 500円＋税(事前に実施方法を学ぶために必要) カードセット(セット内容):カード、結果・記録シート(A4判)1枚、結果・整理シート(A3判)1枚 本体 900円＋税															
	⑤	VRTカード事例集—VRTカードの活用と実践に向けて— (ダウンロード)		<a href="http://eforum.jil.go.jp/institute/seika/vrtc card/case/index.htm">http://eforum.jil.go.jp/institute/seika/vrtc card/case/index.htm</a>															
備考	【興味】(A-4)を先に実施していれば、実施方法や手順に慣れがあるため余裕をもって実施できる。																		
	利用の手引を事前に読んで、VRTカードの内容を理解しておく必要がある。																		

【A-6】VRTカードを使った自己理解3（結果を使った分析）

自己理解				基礎的・汎用的能力							勤労観・職業観	
テーマ	A-6 VRTカードの結果を使った自己理解3(分析)			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力		創造力
ツール	VRTカード											
ねらい	①	VRTカードの結果を使って職業興味と自信の関係から更に職業的志向性の理解を深める。										
	②	グループ活動を通して、他者理解や自己理解を深める。										
実施学年	1年生後期～3年生前期											
実施時期	VRTカード(A-4、A-5)の実施後											
適正人数	40名～80名											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	実施方法の説明	5分	授業の流れと授業のねらいについて説明する。資料①各自持参、②～④配布する。								○
	②	実施の準備(ペアづくり)	5分	できれば前回のペアと一緒に作業する。	○	○						○
	③	カードと資料の配付	5分	二人一組のペアとなり、一人1セットずつ配布かペアごとにVRTカード一組を配布する。								
	④	結果・記録シートの結果から「やりたい」VRTカードを抜き出し、資料②を使って自信があるかないかで分類する	20分	[ ]の中にカード番号を入れる。 ( )の中にRIASECの記号を入れる。 ( )の横に職業名を書き入れる。 自信がある、どちらとも言えない、自信がないの境目に横線を入れて分ける。 自信についての3分野で職業名を見て共通している点や気付いたことについて記述する。			○	○	○			○
	⑤	結果・記録シートの結果から「どちらともいえない」VRTカードを抜き出し、資料③を使って自信があるかないかで分類する	20分	上記と同様。			○	○	○			○
	⑥	結果・記録シートの結果から「やりたくない」VRTカードを抜き出し、資料④を使って自信があるかないかで分類する	20分	上記と同様。			○	○	○			○
	⑦	グループ内で各自の発表	10分	興味と自信による職業志向性について発表する。	○	○	○	○				○
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。VRTカードは回収する。								○
評価観点	①	職業興味と自信の関係から更に職業的志向性の理解を深めることができたか。										
	②	グループ活動を通して、他者理解や自己理解を深めることができたか。										
資料	①	結果・記録シート	VRTカード実施で使用した興味と自信の結果を記録したシート									
	②	VRTカード結果分析シート(やりたい)	「やりたい」カードの自信尺度での分類シート									
	③	VRTカード結果分析シート(どちらともいえない)	「どちらともいえない」カードの自信尺度での分類シート									
	④	VRTカード結果分析シート(やりたくない)	「やりたくない」カードの自信尺度での分類シート									
	⑤	VRTカード										
備考	本時を実施するためには、「興味」(A-4)と「自信」(A-5)の両方の事前実施が必要。											

【A-7】OHBYカードを使った自己理解の深化 1（OHBYカードの実施）

自己理解、職業理解				基礎的・汎用的能力									
テーマ	A-7 OHBYカードを使った自己理解の深化1			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
ツール	OHBYカード												
ねらい	①	職業のイメージを表す絵や写真に対する自らの志向性を検討することで、自己理解を深める。											
	②	いろいろな産業分野の代表的な職業をみることで仕事のイメージを作り、職業理解を深める。											
実施学年	1年生後期～3年生前期												
実施時期													
適正人数	40名～80名												
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項									
	①	本時の説明(演習の流れ、目的の説明)	5分	授業の流れと授業のねらいについて説明する。パワーポイントに沿って説明。									○
	②	カードの配布と資料の用意	10分	カードとシートを配布。1人1つずつ。					○				
	③	職業カード分析シートの事前課題書き込み	10分	将来の進路についての現在の考え方を記入。				○	○				○ ○
	④	分類	10分	個別にカードを分類。3つの分類の数を数えてシートに記入。				○	○				○
	⑤	解釈 1)「選択しない」カードの分析	15分	小グループに再分類。シートに記入。				○	○	○			○
	⑥	2)「選択する」カードの分析	15分	上位5枚のカード選択。シートに記入。				○	○	○			○
	⑦	3)選択の仕方の分析	15分	1)と2)の分け方を比較し、考える。				○	○	○			○
	⑧	講師からのまとめと課題の提示	10分	本時のねらいが達成できたか確認する。次回までの課題を提示する。					○				○
評価観点	①	自らの志向性を検討することで、自己理解を深めることができたか。											
	②	仕事のイメージを作り、職業理解を深めることができたか。											
資料	①	OHBYカード	本体 700円＋税（労働政策研究・研修機構）										
	②	OHBYカードの説明書	カードの箱に添付されている。										
	③	職業カード分析シート(手引きP.12-P.13)	活用の手引き P.12-P.13に掲載										
	④	活用の手引き	本体 300円＋税（労働政策研究・研修機構）										
	⑤	パワーポイント資料	解説用のパワーポイントで授業中に使用する。										
	⑥	職業調べの記入シート	職業調べの記録で使うワークシート										
備考	A-8を行わず、本時だけの実施でも可能。												
	OHBYカードの実施については、手引きを読むこと。												
	授業の時に提示用に使えるパワーポイントが用意されていることが必要。												

【A-8】OHBY カードを使った自己理解の深化2（OHBY カードの実施後の発表）

自己理解、職業理解				基礎的・汎用的能力						勤労観・職業観				
テーマ	A-8 OHBYカードを使った自己理解の深化2			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン		論理的思考力	創造力	意欲・態度	
ツール	OHBYカード													
ねらい	①	職業情報を調べ、情報を交換することで、様々な職業についての関心を広げ、理解を深める。												
	②	グループでのコミュニケーションを通じて、他者への基礎的な関心を持てるようにすること。												
実施学年	1年生後期～3年生前期													
実施時期	OHBYカード(A-7)の実施後に行う													
適正人数	40名～80名													
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項										
	①	本時の説明(演習の流れの解説)	10分	授業の流れと授業のねらいについて説明する。前回の振り返りと今回の課題のねらい。					○				○	
	②	グループ分け	5分	4～6人のグループをつくる。	○	○			○				○	
	③	発表の準備(順番を決めるなど)	5分		○	○			○				○	
	④	グループ内で発表	55分	一人ずつ発表後、意見交換。発表の記録シートに書き込み。	○	○			○	○			○	○
	⑤	グループワークの振り返り	10分	発表の記録シートに書き込み。	○	○			○		○			○
	⑥	教師からのまとめのコメント	5分	2コマ分の演習の総評。										○
評価観点	①	様々な職業についての関心を広げ、理解を深めることができたか。												
	②	コミュニケーションを通じて、他者への基礎的な関心を持てるようになったか。												
資料	①	パワーポイント資料	解説用のパワーポイントで授業中に使用する											
	②	職業調べの記録用紙	職業調べの発表で使うワークシート											
	③													
	④													
	⑤													
備考	OHBYカード(A-7)の事前実施が必要。													



【A-9】働くための能力、興味、価値観を知る（キャリア・インサイト1）

自己理解				基礎的・汎用的能力						論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
テーマ	A-9 働くための能力、興味、価値観を知る			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン				
ツール	キャリア・インサイト												
ねらい	① キャリア・インサイトの結果を基に自らの職業興味の志向性について、理解を深める。 ② 話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。												
実施学年	2年生、3年生												
実施時期													
適正人数	60名～120名												
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項									
	①	本時の説明	5分	授業の流れと授業のねらいについて説明する。								○	
	②	自己PR文の作成	15分	能力評価プロフィール、職業興味評価プロフィールのチェックポイントを読んで自分の得意(強み)を自己PR文として書く。			○					○	
	③	能力と興味における職業とのマッチング	15分	表示されている職業から特に関心のある職業をチェックし、詳しく調べてみたい職業を転記する。			○					○	
	④	価値観評価プロフィール	10分	職業選択において重視している事柄について記述する。			○					○	
	⑤	職業調べ	15分	2で記載した職業をハローワークインターネットサービスの職業情報で調べる。					○	○	○	○	
	⑥	グループ内発表	20分	4～6人のグループで本時にまとめたことを発表し合う。	○	○		○	○		○	○	
	⑦	話し合いのまとめ	5分	話し合いを通して気付いたことをまとめる。					○	○			
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。									
評価観点	① 自らの職業興味の志向性について、理解が深まったか。												
	② 仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。												
資料	①	キャリア・インサイトECによる職業興味理解	授業用ワークシート										
	②	キャリア・インサイトECの出力印刷	能力の評価、職業興味の評価、価値観の評価を実施し、結果をプリントアウトする。										
	③	「キャリア・インサイト」(職業適性診断システム)	・CD-ROM 1枚 4,320円 ・ライセンスのみ(複数台のパソコンで利用の場合、1台につき) 1,296円 ・手引 1,620円 ※価格は税込・送料実費(雇用問題研究会)										
	④												
	⑤												
備考	キャリアインサイトECは、キャリアインサイト統合版の中のECコースのこと。												
	キャリア・インサイトECはキャリア・センター等の複数台のパソコンで実施できるようにしておく必要がある。												
	パソコン操作についてはセンター職員等が支援できる体制を整えるとよい。												
	手引を事前に読んで、キャリア・インサイトECの内容や実施方法を理解しておく必要がある。 学生は、準備学習(宿題)として、能力の評価、職業興味の評価、価値観の評価を実施し、結果を各自でプリントアウトしてくる。												

【A-10】働く時の行動特性や性格・傾向を知る（キャリア・インサイト2）

自己理解				基礎的・汎用的能力					論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
テーマ	A-10 働く時の行動特性や性格・傾向を知る			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応				
ツール	キャリア・インサイト											
ねらい	①	キャリア・インサイトの結果を基に自らの行動特性や性格・傾向について、理解を深める。										
	②	話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。										
実施学年	2年生、3年生											
実施時期												
適正人数	60名～120名											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	5分	授業の流れと授業のねらいについて説明する。							○	
	②	行動特性評価(シミュレーション)プロフィール	15分	6つの行動特性の結果から自分の特徴をまとめる。自分の行動特性にあった職群から、自分の考えに近いものを選び、その理由も考えてみる。			○	○	○	○	○	
	③	行動特性評価(性格・傾向チェック)プロフィール1	15分	解説を要約し、自分の考える傾向と比べる。			○	○	○	○	○	
	④	行動特性評価(性格・傾向チェック)プロフィール2	10分	職場イメージ特徴を見て、解説を要約し、自分の考えと比べる。			○	○	○	○	○	
	⑤	行動特性評価(性格・傾向チェック)プロフィール3	15分	得意とする対人関係業務を見て、解説を要約し、自分の考えと比べる。			○	○	○	○	○	
	⑥	グループ内発表	20分	4～6人のグループで本時にまとめたことを発表し合う。	○	○	○	○	○	○	○	
	⑦	話し合いのまとめ	5分	話し合いを通して気付いたことをまとめる。				○	○			
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。								
評価観点	①	自らの行動特性や性格・傾向について、理解が深まったか。										
	②	仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。										
資料	①	キャリア・インサイトECによる行動特性の理解	授業用ワークシート									
	②	キャリア・インサイトECの出力印刷	行動特性の評価としてシミュレーションと性格・傾向チェックを実施し、結果をプリントアウトする。									
	③	「キャリア・インサイト」(職業適性診断システム)	・CD-ROM 1枚 4,320円 ・ライセンスのみ(複数台のパソコンで利用の場合、1台につき) 1,296円 ・手引 1,620円 ※価格は税込・送料実費(雇用問題研究会)									
	④											
	⑤											
備考	キャリア・インサイトECはキャリア・センター等の複数台のパソコンで実施できるようにしておく必要がある。											
	パソコン操作についてはセンター職員等が支援できる体制を整えよう。											
	手引を事前に読んで、キャリア・インサイトECの内容や実施方法を理解しておく必要がある。 学生は、準備学習(宿題)として、行動特性の評価のシミュレーションと性格・傾向チェックを実施し、結果を各自でプリントアウトしてくる。											

【A-11】職業への興味や能力から適職を探す（キャリア・インサイト3）

自己理解				基礎的・汎用的能力						勤労観・職業観		
テーマ	A-11 職業への興味や能力から適職を探す			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン		論理的思考力	創造力
ツール	キャリア・インサイト											
ねらい	① キャリア・インサイトの結果を基に自らの総合評価から適職について理解を深める。 ② 話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。											
実施学年	2年生、3年生											
実施時期												
適正人数	60名～120名											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	5分	授業の流れと授業のねらいについて説明する。								○
	②	総合評価あなたの能力と興味	15分	総合評価あなたの能力と興味を読んで、自分の考えを書く。			○	○	○			○
	③	総合評価コーナープロフィール	15分	興味と能力の関連についてまとめる。			○	○	○			○
	④	興味領域に関する能力の特徴	10分	自分の考えを踏まえてまとめる。			○	○	○			○
	⑤	適職チェック職業調べ	15分	適職の中で関心のあるものをチェックし、ハローワークインターネットサービスで調べ、要点を記述する。			○	○	○	○		○
	⑥	グループ内発表	20分	4～6人のグループで本時にまとめたことを発表し合う。	○	○		○	○			○
	⑦	話し合いのまとめ	5分	話し合いを通して気付いたことをまとめる。					○		○	
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。								
評価観点	① 自らの総合評価から適職について理解が深まったか。											
	② 仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。											
資料	①	キャリア・インサイトECによる総合評価の理解	授業用ワークシート									
	②	キャリア・インサイトECの出力印刷	総合評価を実施し、結果をプリントアウトする。									
	③	「キャリア・インサイト」(職業適性診断システム)	・CD-ROM 1枚 4,320円 ・ライセンスのみ(複数台のパソコンで利用の場合、1台につき) 1,296円 ・手引 1,620円 ※価格は税込・送料実費(雇用問題研究会)									
	④											
	⑤											
備考	キャリア・インサイトECはキャリア・センター等の複数台のパソコンで実施できるようにしておく必要がある。											
	パソコン操作についてはセンター職員等が支援できる体制を整えよう。											
	手引を事前に読んで、キャリア・インサイトECの内容や実施方法を理解しておく必要がある。											
	学生は、準備学習(宿題)として、総合評価を事前に実施し、結果を各自でプリントアウトしてくる。											

【A-12】 将来のキャリア・プランを考える（キャリア・インサイト4）

自己理解				基礎的・汎用的能力									
テーマ	A-12 将来のキャリアプランを考える			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
ツール	キャリア・インサイト												
ねらい	①	キャリア・インサイトのキャリアプランニングコーナー結果を基に自らのキャリアプランについて考える。											
	②	話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。											
実施学年	2年生、3年生												
実施時期													
適正人数	60名～120名												
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項									
	①	本時の説明	5分	授業の流れと授業のねらいについて説明する。									○
	②	希望する職業との相性診断照合結果	15分	自分の希望と適性がどの程度合致しているか、また、合致していないかを検討する。			○	○	○		○		○
	③	就職準備度チェックリスト	15分	「あなたの状況と今後の就職について」を読んで、アドバイスを沿って考え、まとめる。			○	○	○	○	○		○
	④	「あなたのステージ」	10分	アドバイスを沿って考えてまとめる。			○	○	○	○	○		○
	⑤	長期キャリアプラン	15分	自分なりの考えやキャリアプランの内容について自己評価する。			○	○	○	○	○		○
	⑥	グループ内発表	20分	4～6人のグループで本時にまとめたことを発表し合う。	○	○		○	○	○	○		○
	⑦	話し合いのまとめ	5分	話し合いを通して気付いたことをまとめる。					○	○	○		
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。						○			
評価観点	①	キャリアプランニングコーナー結果を基に自らのキャリアプランについて考えることができたか。											
	②	仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。											
資料	①	キャリア・インサイトECによるキャリアプランニング	授業用ワークシート										
	②	キャリア・インサイトECの出力印刷	キャリアプランニングコーナーを実施し、結果をプリントアウトする。										
	③	「キャリア・インサイト」(職業適性診断システム)	・CD-ROM 1枚 4,320円 ・ライセンスのみ(複数台のパソコンで利用の場合、1台につき) 1,296円 ・手引 1,620円 ※価格は税込・送料実費(雇用問題研究会)										
	④												
	⑤												
備考	キャリア・インサイトECはキャリア・センター等の複数台のパソコンで実施できるようにしておく必要がある。												
	パソコン操作についてはセンター職員等が支援できる体制を整えるとよい。												
	手引を事前に読んで、キャリア・インサイトECの内容や実施方法を理解しておく必要がある。												
	学生は、準備学習(宿題)として、キャリアプランニングコーナーを実施し、結果を各自でプリントアウトしてくる。												

## 2. 職業理解

### 【B-1】職業の中の仕事を探す（課業分析を通じて）

職業理解				基礎的・汎用的能力					論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
テーマ	B-1 職業の中の仕事を探す			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応				
ねらい	①	課業分析を通して、職業についての構造的な知識・理解を深め、職業への興味関心を持たせる。										
	②	分析の評価項目から、職業適性の視点を学ぶ。										
実施学年	1年生～3年生											
実施時期												
適正人数	60名～120名											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	10分	課業の解説を通して職業の構造について説明する。本時の流れについて説明する。4～6名でグループ分けをする。								
	②	「ワークシート1 作業1」職業を選ぶ(グループワーク)	5分	枠内の職業から1つをグループで選ぶ。	○							○
	③	「作業2」職業に含まれる課業の選択(個人ワーク)	5分	課業一覧から職業に含まれると思う課業の全てに○をつける。							○	
	④	「作業3」3つの課業の選択(グループワーク)	5分	グループ内で発表し合い、選んだ課業の中から3つを選択し、◎を付ける。	○	○					○	○
	⑤	「ワークシート2 作業4」3つの課業の分析・評価(個人ワーク)	10分	3つの課業について、ワークシート2に書き写し、それぞれ評価項目に沿って評価する。					○		○	
	⑥	「ワークシート 作業5」分析結果の集計と討議(グループワーク)	30分	課業それぞれについて評価結果を発表し合い、話し合いで適正な評価を決定する。評価は5段階評価で行う。平均を取ったりジャンケンで決めたりしないで、必ず話し合いで決めるようにする。	○	○		○	○		○	
	⑦	グループごとの発表	20分	幾つかのグループが発表する。残り時間によって発表グループの数を決めるようにする。					○		○	
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。								○
評価観点	①	職業についての構造的な知識・理解が深まったか。										
	②	職業適性の視点が学べたか。										
資料	①	ワークシート1	職業群と課業一覧のシートで作業1～3を実施									
	②	ワークシート2	課業分析のシート									
	③	ワークシート3	課業ごとのグループ分析シート									
	④	参考資料	評価項目である適性能の9項目について解説してある									
	⑤											
備考	正しい解答よりも話し合いを通して、学生の主体的な学習を促進するよう心がける。											
	職業を課業段階で分析することにより、どの仕事についても自分に向く部分と向かない部分があることを理解させる。											

【B-2】職業（アルバイト等）の職務分析

職業理解				基礎的・汎用的能力						論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
テーマ	B-2 職業(アルバイト等)の職務分析			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン				
ツール													
ねらい	① アルバイトの課業分析を通して、職業についての構造的な知識・理解を深める。 ② 課業評価を通して、職業適性の視点を学ぶ。												
実施学年	2年生、3年生												
実施時期	「職業の中の仕事を探す」(B-1)の実施後が望ましい												
適正人数	60名～120名												
実施手順	学習の流れ		時間	留意事項									
	①	本時の説明	10分	アルバイトの仕事内容から課業分析をする手順や主旨について説明する。本時の流れについて説明する。4～6名でグループ分けをする。									
	②	ワークシート1「作業1」アルバイトで経験したことのある職業を選ぶ	5分	アルバイト経験のない場合には、家業の手伝いや家事手伝いでもよい。									
	③	「作業2」アルバイトの職業に含まれる課業の選択	5分	課業一覧から、その職業に含まれると思う課業の全てに○をつける。適切なものがない場合は空欄に自分で書き入れるようにする。									
	④	「作業3」○印を付けた中でも特に特徴のある課業を4つ選ぶ	5分	○をつけた課業の中からその職業の特徴を表していると思われる課業を4つ選んで◎をつける。									
	⑤	ワークシート2「作業4」4つの課業の分析・評価(ワークシート2)	10分	ワークシート2を使って、4つの課業についてそれぞれ評価項目に沿って評価する。									
	⑥	ワークシート3 課業分析の整理と適性考察	30分	ワークシート3を使って、4つの課業の特徴を分析結果から書き出し、自分にとっての課業との相性を考える。アルバイトの仕事を通して、学んだことや成長した側面について考える。この経験が将来の職業選択へどのように影響するか考える。									
	⑦	グループ内での発表	20分	○	○	○	○						○
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。									
評価観点	① 職業についての構造的な知識・理解が深まったか。												
	② 職業適性の視点が学べたか。												
資料	①	ワークシート1	職業群と課業一覧のシートで作業1～3を実施										
	②	ワークシート2	課業分析の評価シート										
	③	ワークシート3	アルバイトの職務分析シート										
	④	参考資料	評価項目である適性能の9項目について解説してある										
	⑤												
備考	B-1を実施しないで本時を実施する場合には、課業についての十分な解説が必要である。												
	アルバイトの課業分析を通して、どの仕事についても自分に向く部分と向かない部分があることを理解させる。												

### 【B-3】職業インタビュー

職業理解				基礎的・汎用的能力						勤労観・職業観		
テーマ	B-3 職業インタビュー			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン		論理的思考力	創造力
ツール												
ねらい	①	身近な社会人へのインタビューを通して、職業選択や働く難しさ、辛さややりがいについて理解を深める。										
	②	インタビューや話し合い活動を通して、関係構築力やコミュニケーション能力を高める。										
実施学年	1年生～3年生											
実施時期												
適正人数	60人～80人											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	5分	準備学習として社会人へのインタビューを実施してきたことを確認する。本時のねらいを説明し、グループ内での発表の手順について説明する。								○ ○
	②	実施の準備、グループづくり	10分	4～6名のグループをつくりまとまって座る。司会進行役をグループ内から選び、発表の進行を任せる。	○	○						○
	③	インタビュー結果のグループ内発表	30分	グループ内でインタビューワークシートに沿って一人ずつ発表する。メンバーはワークシート2を使って発表の内容のメモを取る。	○	○				○		○
	④	グループ内で代表発表者を決める	5分	グループ内で全員の発表が終わったら、グループで話し合い全体で発表する代表を選出する。				○	○			○ ○
	⑤	グループ代表の発表	30分	グループ選出の代表がインタビュー結果を発表する。全員が各自ワークシート2の残りをを使って発表内容の概要のメモをとる。					○	○	○	○
	⑥	発表のまとめ	5分	ワークシート2に発表を通して気付いたことをまとめる。					○	○		○
	⑦	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。								○
評価観点	①	職業選択や働く難しさ、辛さややりがいについて理解が深まったか。										
	②	関係構築力やコミュニケーション能力が高まったか。										
資料	①	職業インタビュー・ワークシート1	準備学習として、事前に身近な社会人から職業についてのインタビューを実施してくる。									
	②	職業インタビュー・ワークシート2	発表を聞いてメモを取るために使用し、発表を聞いて気付いたことをまとめる。									
	③											
	④											
	⑤											
備考	準備学習(宿題)として社会人インタビューの実施が必要で、そのために事前指導も必要。											
	事前にグループワーク等によりコミュニケーション能力を身に付けておく。											
	話し方や言葉遣いについても必要であれば事前指導しておく。											
	発表を聞きながらメモをとることは、聞いた話をまとめる習慣を身につけるために重要。											

【B-4】職業の世界を知る（ハローワークインターネットサービスの活用1）

職業理解			基礎的・汎用的能力							勤労観・職業観	
テーマ	B-4 職業の世界を知る		人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力		創造力
ツール	ハローワークインターネットサービス										
ねらい	① ハローワークインターネットサービスを使った職業情報の収集と職業情報の理解を深める。 ② 話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。										
実施学年	2年生、3年生										
実施時期											
適正人数	60名～120名										
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項							
	①	本時の説明	5分	本時のねらいや流れについて説明する。Webに繋がる機器を使ってハローワークインターネットサービスにアクセスする。							
	②	「厚生労働省編職業分類」の大分類から職業を調べる	30分	A管理的職業～K運搬・清掃・包装等の職業までの大分類に含まれる小分類等を検索し、グループで話し合い、解説のある青色の職業の中から関心のあるものを各大分類につき1つ以上選んで書き出す。							
	③	Webを使った職業調べ	20分	グループ内で大分類をそれぞれ分担し、各自で分担した大分類の中の職業を1つ選び、どんな職業か、就くには、労働条件の特徴などを調べて要約する。							
	④	グループ内発表	20分	グループの中で各自が調べて要約した職業について発表し合う。							
	⑤	話し合いのまとめ	10分	職業調べや話し合いを通して気付いたことをまとめる。							
	⑥	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。							
評価観点	① Web職業情報を収集し、職業情報の理解を深めることができたか。 ② 仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。										
資料	①	「職業の世界を知る」ワークシート	授業用ワークシート:ハローワークインターネットサービスを使った職業情報を調べるために使用するワークシート								
	②	ハローワークインターネットサービス	<a href="https://www.hellowork.go.jp/">https://www.hellowork.go.jp/</a>								
	③	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器	Wi-Fi環境が必要								
	④										
	⑤										
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。										
	キャリアを考えるときの有効なWebサイトを知り、主体的に情報収集できるような教育効果が期待できる。										



【B-5】職業調べ（ハローワークインターネットサービスの活用2）

職業理解				基礎的・汎用的能力						勤労観・職業観				
テーマ	B-5 職業調べ(ハローワークインターネットサービスの活用2)			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン		論理的思考力	創造力	意欲・態度	
ツール	ハローワークインターネットサービス													
ねらい	①	ハローワークインターネットサービスを使った職業情報の収集と職業情報の理解を深める。												
	②	話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。												
実施学年	2年生、3年生													
実施時期														
適正人数	60名～120名													
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項										
	①	本時の説明	5分	本時のねらいや流れについて説明する。Webに繋がる機器を使ってハローワークインターネットサービスにアクセスする。									○	
	②	職業調べ・「職業分野別検索」を使って、調べたい職業を選ぶ	5分	仕事をお探しの方＞職業分類・職業解説に関するご案内の検索を使い、Web情報から各自が調べたい職業を選ぶ。	○	○							○	○
	③	Webを使った職業調べ(ワークシート1に記入)	25分	各自で選んだ職業を調べる。どんな職業か、就くには、労働条件の特徴、必要な資格・免許などを調べる。				○	○				○	○
	④	グループ内発表(職業調べ・ワークシート2)	15分	4～6人のグループをつくり、各自が調べた職業の内容について発表し合う。発表を聞いて職業調べ・ワークシート2にまとめて記述する。	○	○			○				○	○
	⑤	グループ内で代表発表者を決める	5分	グループ内で全員の発表が終わったら、グループで話し合い全体で発表する代表を選出する。	○	○			○	○			○	○
	⑥	グループ代表の発表	25分	グループ選出の代表がインタビュー結果を発表する。全員が各自ワークシート2の残りを使って発表内容の概要のメモをとる。					○	○	○			○
	⑦	話し合いのまとめ	5分	職業調べや話し合い、全体発表を通して気付いたことをまとめる。					○		○			
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。										○
評価観点	①	Web職業情報を収集し、職業情報の理解を深めることができたか。												
	②	仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。												
資料	①	職業調べ・ワークシート1	授業用ワークシート:ハローワークインターネットサービスを使った職業情報を調べるために使用するワークシート											
	②	職業調べ・ワークシート2	発表を聞いてメモを取るために使用し、発表を聞いて気付いたことをまとめる。											
	③	ハローワークインターネットサービス	<a href="https://www.hellowork.go.jp/">https://www.hellowork.go.jp/</a>											
	④	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器	Wi-Fi環境が必要											
	⑤													
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。													
	キャリアを考えるときの有効なWebサイトを知り、主体的に情報収集できるような教育効果が期待できる。													
	発表を聞きながらメモをとることは、聞いた話をまとめる習慣を身につけるために重要。													

【B-6】様々な働き方について学ぶ（TOKYOはたらくネット・ポケット労働法）

職業理解				基礎的・汎用的能力									
テーマ	B-6 様々な働き方について学ぶ			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
ツール	厚生労働省「知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識」、TOKYOはたらくネット「ポケット労働法」その他												
ねらい	① Webサイトにある労働法規関連の資料を使って労働問題の解決方法について学ぶ。 ② 話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。												
実施学年	3年生、4年生												
実施時期													
適正人数	60名～120名												
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項									
	①	本時の説明	5分	本時のねらいや流れについて説明する。Webに繋がる機器を使って厚生労働省の「知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識」「TOKYOはたらくネット」の労働関連資料・パンフレットダウンロードにある「ポケット労働法」にアクセスする。									○
	②	実施の準備、グループづくり	5分	4～6名のグループを10～20グループつくりまとまって座る。			○	○					○
	③	課題一覧からグループごとに1つ課題を分担する	10分	グループごとでワークシートにある10の課題から1つを分担する。分担の仕方はくじ等工夫する。			○	○					
	④	各グループで課題についてWeb資料を使って調べ学習を行う	35分	「知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識」「ポケット労働法」にアクセスし、課題の解決方法について調べ、グループで話し合いながら適切なアドバイスを考える。			○	○	○	○		○	○
	⑤	グループ代表の発表	25分	グループの中で代表を選出し、各グループの代表が全体で発表する。						○	○	○	○
	⑥	本時のまとめ	5分	課題調べや話し合いを通して気付いたことをまとめる。						○	○		○
	⑦	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。									○
評価観点	① Web資料を使って労働問題の解決方法について学ぶことができたか。												
	② 仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。												
資料	①	様々な働き方について学ぶ・ワークシート1	10課題の提示と検索サイトの情報が示してある										
	②	様々な働き方について学ぶ・ワークシート2	課題に対してどのように対処したらよいのか、課題への対応に関連する法的な根拠労働関係法規や解説で示されている内容や解釈を調べる										
	③	様々な働き方について学ぶ・ワークシート3	10課題の全体発表を聞いてメモをとるためのワークシート										
	④	「知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識」	<a href="http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouzenpan/roudouhou/">http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouzenpan/roudouhou/</a> 厚生労働省ホーム＞政策について＞分野別の政策一覧＞雇用・労働＞労働政策全般＞知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識										
	⑤	「ポケット労働法」	<a href="http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/siryo/pocket/">http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/siryo/pocket/</a> TOKYOはたらくネットトップページ＞労働相談・労働情報＞労働関連資料・パンフレットダウンロード＞ポケット労働法										
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。												
	キャリアを考えたときの有効なWebサイトを知り、主体的に情報収集できるような教育効果が期待できる。												

【B-7】資格・免許について学ぶ（資格サイトの活用）

職業理解				基礎的・汎用的能力							勤労観・職業観		
テーマ	B-7 資格・免許について学ぶ			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力		創造力	意欲・態度
ツール	「資格キング」「資格の王道」「資格.com」「資格ガイド」「資格と仕事」その他												
ねらい	① Webサイトにある職業情報関連の資料を使って様々な資格・免許について学ぶ。 ② 話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。												
実施学年	2年生、3年生												
実施時期	職業インタビュー(B-3)、職業調べ(B-5)などの授業を実施した後が望ましい												
適正人数	60名～120名												
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項									
	①	本時の説明	5分	Webに繋がる機器を使って「資格キング」「資格の王道」「資格.com」「資格ガイド」「資格と仕事」その他にアクセスする。								○	
	②	実施の準備、グループづくり	5分	4～6名のグループをつくりまとまって座る。	○	○						○	
	③	資格・免許調べ	30分	各自、Webサイトの資格・免許情報から1つ選んで調べてまとめる。資格・免許のジャンルや分野、資格・免許に関わる仕事内容や就職先、受験資格、試験内容、合格難易度などについてまとめる。						○		○	
	④	グループ内での発表	20分	調べた資格・免許をグループ内で一人ずつ発表する。	○	○			○	○		○	
	⑤	グループ代表の発表	20分	グループの中で代表を選出し、全体で発表する。							○	○	
	⑥	本時のまとめ	5分	資格・免許調べや話し合いを通して気付いたことをまとめる。				○	○			○	
	⑦	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。								○	
評価観点	① Web資料を使って様々な資格・免許について学べたか。												
	② 仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。												
資料	①	資格・免許について学ぶ・ワークシート1	資格・免許のジャンルや分野、資格・免許に関わる仕事内容や就職先、受験資格、試験内容、合格難易度などについてまとめるワークシート										
	②	資格・免許について学ぶ・ワークシート2	全体発表を聞いてメモをとるためのワークシート										
	③	資格関連のWebサイト	資格キング 資格の王道 資格.com 資格ガイド 資格と仕事	<a href="https://www.shikaku-king.com/">https://www.shikaku-king.com/</a> <a href="http://www.shikakude.com/">http://www.shikakude.com/</a> <a href="http://shikakuu.com/">http://shikakuu.com/</a> <a href="http://www.tuutenkaku.com/">http://www.tuutenkaku.com/</a> <a href="http://www.shikakutoshigoto.net/">http://www.shikakutoshigoto.net/</a>									
	④												
	⑤												
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。												
	授業で使える適切なWebサイトを事前に調べておくとよい。												

## 【B-8】社会人インタビュー情報から学ぶ1

職業理解				基礎的・汎用的能力						勤労観・職業観		
テーマ	B-8 社会人インタビュー情報から学ぶ1			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン		論理的思考力	創造力
ツール												
ねらい	① Webサイトにある社会人インタビュー情報を使って働く姿から職業について学ぶ。 ② 世代による働き方や働く意義などの違いから、働き方や職業観について学ぶ。											
実施学年	3年生、4年生											
実施時期												
適正人数	60名～120名											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	5分	Webに繋がる機器を使って「社会人インタビュー情報」にアクセスする。								○
	②	実施の準備、グループづくり	5分	4～6名のグループをつくりまとめて座る。①ワークシート配布。	○	○						○
	③	6つの職種からグループごとに1つを選んで分担する	5分	グループごとにWebサイトにある6つの職業から1つを分担する。分担の仕方はくじ等工夫してもよい。						○		○
	④	3世代の社会人インタビュー資料を使った職業調べ	35分	グループ活動として協力しながら[若手][中堅][ベテラン]の3世代のインタビュー資料を見ながらワークシートにまとめる。	○	○			○	○		○
	⑤	グループ代表の発表	30分	グループの中で代表を選出し、全体で発表する。②ワークシート配布。							○	○
	⑥	本時のまとめ	5分	発表を通して気付いたことをまとめる。				○	○			○
	⑦	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。								○
評価観点	① 社会人インタビュー情報を使って働く姿から職業について学ぶことができたか。											
	② 世代による働き方や働く意義などの違いから、働き方や職業観について学ぶことができたか。											
資料	①	社会人インタビュー情報から学ぶ・ワークシート1	社会人インタビューによる情報・資料を通して、働く姿や世代による働き方、働く意義などの違いから、働き方や職業観などについてまとめるワークシート									
	②	社会人インタビュー情報から学ぶ・ワークシート2	全体発表を聞いてメモをとるためのワークシート									
	③	資格関連のWebサイト	<a href="http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyouounouryokukaihatsukyoku/0000086098.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyouounouryokukaihatsukyoku/0000086098.pdf</a>									
	④											
	⑤											
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。											
	授業で使うWebサイトを事前に確認しておくことよ。											
	B-8、B-9、B-10は同様の内容について実施方法を変えているので、実態に合わせて選択して実施することができる。											
	発表を聞きながらメモをとることは、聞いた話をまとめる習慣を身につけるために重要。											

## 【B-9】社会人インタビュー情報から学ぶ2

職業理解			基礎的・汎用的能力									
テーマ	B-9 社会人インタビュー情報から学ぶ2		人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
ツール												
ねらい	①	Webサイトにある社会人インタビュー情報を使って働く姿から職業について学ぶ。										
	②	世代による働き方や働く意義などの違いから、働き方や職業観について学ぶ。										
実施学年	3年生、4年生											
実施時期												
適正人数	60名～120名											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	5分	Webに繋がる機器を使って「社会人インタビュー情報」にアクセスする。								
	②	実施の準備、グループづくり	5分	○	○							○
	③	6つの職種からグループごとに1つを選んで分担する	5分						○			○
	④	3世代の社会人インタビュー資料を使った職業調べ	35分	○	○		○		○			○
	⑤	グループ内の発表	30分	○	○						○	○
	⑥	本時のまとめ	5分				○	○				○
	⑦	講師からのコメント	5分									○
評価観点	① 社会人インタビュー情報を使って働く姿から職業について学ぶことができたか。											
	② 世代による働き方や働く意義などの違いから、働き方や職業観について学ぶことができたか。											
資料	①	社会人インタビュー情報から学ぶ2・ワークシート1	社会人インタビューによる情報・資料を通して、働く姿や世代による働き方、働く意義などの違いから、働き方や職業観などについてまとめるワークシート									
	②	社会人インタビュー情報から学ぶ2・ワークシート2	全体発表を聞いてメモをとるためのワークシート									
	③	資格関連のWebサイト	<a href="http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyounouryokukaihatsukyoku/0000086098.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyounouryokukaihatsukyoku/0000086098.pdf</a>									
	④											
	⑤											
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。											
	授業で使うWebサイトを事前に確認しておくことよ。											
	B-8、B-9、B-10は同様の内容について実施方法を変えているので、実態に合わせて選択して実施することができる。発表を聞きながらメモをとることは、聞いた話をまとめる習慣を身につけるために重要。											

【B-10】社会人インタビュー情報から学ぶ3

職業理解				基礎的・汎用的能力						勤労観・職業観		
テーマ	B-10 社会人インタビュー情報から学ぶ3			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン		論理的思考力	創造力
ツール												
ねらい	①	Webサイトにある社会人インタビュー情報を使って働く姿から職業について学ぶ。										
	②	世代による働き方や働く意義などの違いから、働き方や職業観について学ぶ。										
実施学年	3年生、4年生											
実施時期												
適正人数	60名～120名											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	5分	Webに繋がる機器を使って「社会人インタビュー情報」にアクセスする。								○
	②	実施の準備、グループづくり	5分	6名のグループをつくりまとまって座る。 ①ワークシート配布。	○	○						○
	③	6つの職種からグループごとに1つを選んで分担する	5分	グループごとでWebサイトにある6つの職業から1つを分担する。分担の仕方はくじ等工夫してもよい。						○		○
	④	3世代の社会人インタビュー資料を使った職業調べ	35分	インタビュー内容の6項目をグループ内の6名でそれぞれ分担し、インタビュー資料を使って、分担したインタビュー項目について3世代の話を②ワークシートにまとめる。	○	○			○			○
	⑤	グループ内の発表	30分	グループ内でまとめたインタビュー項目を発表し合う。発表内容について③ワークシートにメモをとる。	○	○						○
	⑥	本時のまとめ	5分	インタビュー項目の発表を通して気付いたことをまとめる。				○	○			○
	⑦	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。								○
評価観点	①	社会人インタビュー情報を使って働く姿から職業について学ぶことができたか。										
	②	世代による働き方や働く意義などの違いから、働き方や職業観について学ぶことができたか。										
資料	①	社会人インタビュー情報から学ぶ3・ワークシート1	学習の手順やインタビューの6項目について記載したワークシートで分担した氏名を記述する									
	②	社会人インタビュー情報から学ぶ3・ワークシート2	社会人インタビューによる情報・資料を使って、インタビューの6項目の内容について、それぞれまとめるワークシート									
	③	社会人インタビュー情報から学ぶ3・ワークシート3	全体発表を聞いてメモをとるためのワークシート									
	④	資格関連のWebサイト	<a href="http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyounouryokukaihatsukyoku/0000086098.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyounouryokukaihatsukyoku/0000086098.pdf</a>									
	⑤											
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。											
	授業で使うWebサイトを事前に確認しておくことよ。											
	B-8、B-9、B-10は同様の内容について実施方法を変えているので、実態に合わせて選択して実施することができる。発表を聞きながらメモをとることは、聞いた話をまとめる習慣を身につけるために重要。											

## 【B-11】社会人インタビュー

職業理解				基礎的・汎用的能力						論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
テーマ	B-11 社会人インタビュー			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン				
ツール													
ねらい	①	身近な社会人へのインタビューを通して、産業や職業についての具体的な理解を深める。											
	②	インタビューや話し合い活動を通して、関係構築力やコミュニケーション能力を高める。											
実施学年	3年生、4年生												
実施時期	B-8、B-9、B-10のいずれかの実施後が望ましい												
適正人数	60人～80人												
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項									
	①	本時の説明	5分	準備学習として社会人へのインタビューを実施してきたことを確認する。本時のねらいを説明し、グループ内での発表の手順について説明する。									
	②	実施の準備、グループづくり	10分	4～6名のグループをつくりまとまって座る。司会進行役をグループ内から選び、発表の進行を任せる。									
	③	インタビュー結果のグループ内発表	30分	グループ内でインタビューワークシートに沿って一人ずつ発表する。メンバーはワークシート2を使って発表の内容のメモを取る。									
	④	グループ内で代表発表者を決める	5分	グループ内で全員の発表が終わったら、グループで話し合い全体で発表する代表を選出する。									
	⑤	グループ代表の発表	30分	グループ選出の代表がインタビュー結果を発表する。全員が各自ワークシート2の残りを使って発表内容の概要のメモをとる。									
	⑥	発表のまとめ	5分	ワークシート2に発表を通して気付いたことをまとめる。									
	⑦	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。									
評価観点	①	職業選択や働く難しさ、辛さややりがいについて理解が深まったか。											
	②	関係構築力やコミュニケーション能力が高まったか。											
資料	①	社会人インタビュー・ワークシート1	準備学習として、事前に身近な社会人から職業についてのインタビューを実施してくる。										
	②	社会人インタビュー・ワークシート2	発表を聞いてメモを取るために使用し、発表を聞いて気付いたことをまとめる。										
	③												
	④												
	⑤												
備考	準備学習(宿題)として社会人インタビューの実施が必須であり、そのための事前指導も必要。												
	B-8、B-9、B-10と関連した調査内容のため、B-8、B-9、B-10のいずれかの実施後の方が効果的である。												
	社会人インタビュー・ワークシート1を清書して冊子にまとめると職業情報の資料づくりができる。発表を聞きながらメモをとることは、聞いた話をまとめる習慣を身につけるために重要。												

### 3. その他（労働市場、労働法、ワークルールほか）

#### 【C-1】 ディスクジョッキーへの悩み相談（事例を使った課題解決）

その他（労働市場、労働法、ワークルールほか）				基礎的・汎用的能力									
テーマ	C-1 ディスクジョッキーへの悩み相談			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
	ねらい	実施学年	実施時期										
	リスナーが、自分の進路について、DJ(パーソナリティ)への相談をハガキで投稿している。12の事例はDJへ寄せられた投稿ハガキをイメージしている。リスナーへのアドバイスをみんなで考えてみよう。												
ねらい	①	進路の悩みについて事例を使って課題解決の方策について考える。											
	②	グループでのケーススタディを通して課題解決力を高め、コミュニケーション力を高める。											
実施学年	1年生～3年生												
実施時期													
適正人数	60人～80人												
実施手順	学習の流れ		時間	留意事項									
	①	本時の説明	10分	本時のねらいと学習の流れについて説明する。4～6名でグループ分けをする。									
	②	各グループで12事例から2事例を選ぶ。グループ内で半分に分かれ1事例ずつ分担する	5分	4人グループの場合は2人ずつ、6人グループの場合は3人ずつになる。									
	③	個人ワークで投稿ハガキの悩みに対するアドバイスを各自考える	10分	個人ワークとして相談しないで【自分の意見】に各自で考えて記述する。									
	④	グループ内で同じ事例担当同士で意見交換し、リスナーへ回答するアドバイスをまとめる	10分	【DJ回答】の下の欄に担当者の答えとして記入する。									
	⑤	グループ内で2事例のアドバイスを発表し合い、更に2事例について良いアドバイスを考える	10分	1事例ごと発表し合い、その後、全員でよりよいアドバイスについて討議する。									
	⑥	2事例の内どちらかを選びグループのアドバイスとして発表準備をする	20分	事例を選択したら、1分～2分程度で発表できるように準備する。									
	⑦	グループごとの発表	20分	「悩み相談一覧」を配布する。残り時間に合わせて数グループが発表する。									
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。									
評価観点	① 進路課題を解決する方策を考えることができたか。												
	② 話し合い活動を通して、コミュニケーション力や課題解決力を高められたか。												
資料	①	悩み相談ワークシート	リスナーからの悩み相談葉書の設定で作成されたワークシート。12事例あるワークシートを受講人数分用意する										
	②	悩み相談一覧	12事例の一覧表。受講人数分を用意する										
	③												
	④												
	⑤												
備考	事例については学生や地域の実態に合わせて作成し直して実施することもできる。												
	ハガキ用の紙に印刷するとよりリアリティが増し、ロールプレイとして楽しい雰囲気づくりができる。												



【C-2】学生相談ケーススタディ

その他(労働市場、労働法、ワークルールほか)				基礎的・汎用的能力					勤労観・職業観			
テーマ	C-2 学生相談ケーススタディ			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応		キャリアプラン	論理的思考力	創造力
ツール												
ねらい	① 悩みのケーススタディを通して、課題対応力、課題解決力を身につけ学生生活に生かせるようにする。											
	② グループでの話し合い活動を通して、対人関係構築やコミュニケーション能力を高める。											
実施学年	1年後期～2年後期											
実施時期												
適正人数	60人～80人											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	10分	本時のねらいと学習の流れについて説明する。4～6名でグループ分けをする。								
	②	各グループで8事例から2事例を選ぶ。グループ内で半分に分かれ1事例ずつ担当する	5分	4人グループの場合は2人ずつ、6人グループの場合は3人ずつになる。								
	③	「1 どのようなアドバイスができるかを考える。」を記述する	10分	個人ワークで相談内容に対するアドバイスを各自考え記述する。								
	④	「2 グループで、話し合ったこと(ポイント)をメモする。」を記述する	10分	グループ内の同じ事例担当同士で意見交換し、相談者へ回答するアドバイスをまとめ、「グループで話し合ったこと」の欄に支援のアドバイスとして記述する。								
	⑤	グループ内で2事例のアドバイスを発表し合い、全員で2事例について更に良いアドバイスを考える	10分	1事例ごと発表し合い、その後、全員でよりよいアドバイスについて討議する。								
	⑥	2事例の内どちらかを選びグループのアドバイスとして発表準備をする	20分	事例を選択したら、1分～2分程度で発表できるようにする。								
	⑦	グループごとの発表	20分	残り時間に合わせて数グループが発表する。3 グループで話し合っ、気付いたことを書く。学生相談事例集を全員に配布する。								
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。								
評価観点	① 悩みのケースに適切に応えることができたか。											
	② グループでの話し合い活動を通して、対人関係構築やコミュニケーション能力が高まったか。											
資料	①	悩み相談シート1～8	8種類の悩みが書いてあるワークシート(A4判×8)									
	②	学生相談事例集	8種類の悩みの一覧表									
	③											
	④											
	⑤											
備考	事例については学生や地域の実態に合わせて作成し直して実施することもできる。											

【C-3】就労相談ケーススタディ

その他(労働市場、労働法、ワークルールほか)				基礎的・汎用的能力					論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
テーマ	C-3 就労相談ケーススタディ			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応				
ツール												
ねらい	①	就労問題に関するケーススタディを通して、労働関係法規への理解を深め、課題対応力を高める。										
	②	グループでの話し合い活動を通して、対人関係構築やコミュニケーション能力を高める。										
実施学年	3年後期、4年											
実施時期												
適正人数	60人～80人											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	10分	本時のねらいと学習の流れについて説明する。4～6名でグループ分けをする。								
	②	各グループで7事例から1事例を選び担当する	5分	グループメンバー全員で同じ事例を取り組む。	○	○						
	③	個人ワークで相談内容に対するアドバイスを各自考える	10分	個人ワークとして話し合いをしないで各自で考えさせる。				○		○	○	
	④	グループ内で同じ事例担当同士で意見交換し、相談者へ回答するアドバイスをまとめる	10分	グループで話し合ったことの欄に支援のアドバイスとして記述する。	○	○		○	○	○	○	
	⑤	グループ内で2事例のアドバイスを発表し合い、全員で2事例について更に良いアドバイスを考える	10分	1事例ごと発表し合い、その後、全員でよりよいアドバイスについて討議する。	○	○		○	○	○	○	
	⑥	2事例の内どちらかを選びグループのアドバイスとして発表準備をする	20分	事例を選択したら、1分～2分程度で発表できるようにする。	○	○		○	○		○	
	⑦	グループごとの発表	20分	残り時間に合わせて数グループが発表する。3グループで話し合っ、気付いたことを書く。就労問題事例一覧を全員に配布する。				○			○	
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。							○	
評価観点	①	就労問題に関するケーススタディを通して、労働関係法規への理解が深まり、課題対応力が高まったか。										
	②	グループでの話し合い活動を通して、対人関係構築やコミュニケーション能力が高まったか。										
資料	①	就労相談ケーススタディ・ワークシート	7事例の就労問題が書いてあるワークシート(A4判×8)									
	②	コメント	事例の解決に関するコメント(労働法規関連)									
	③	就労問題事例一覧	7事例の一覧表									
	④	参考文献「働くときのABC」	労働法規関連について事前に調べておく場合に使用する。公益社団法人 全国労働基準関係団体連合会(本体価格1500円+税)									
	⑤											
備考	事例については学生や地域の実態に合わせて作成し直して実施することもできる。											

【C-4】職業生活での様々な問題を考える（キャリアシミュレーション・プログラム）

その他（労働市場、労働法、ワークルールほか）				基礎的・汎用的能力									
テーマ	C-4 職業生活での様々な問題を考える			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
ツール	キャリアシミュレーションプログラム <a href="http://eforum.iil.go.jp/institute/seika/csp/index.htm">http://eforum.iil.go.jp/institute/seika/csp/index.htm</a>												
ねらい	① 若年者が就職後の出来事を疑似体験することで、長期的な職業人生キャリアの見通しを付けること。	② 長時間労働や失業など、社会生活での困難場面における対処策を学習すること。	③ グループでのコミュニケーションを通じて、他者への基礎的な関心を持てるようにすること。										
実施学年	2年生～4年生												
実施時期													
適正人数	60人～80人												
実施手順	学習の流れ		時間	留意事項									
	①	本時の説明、グループ分け	10分	本時のねらいと学習の流れについて説明する。ゲームシート等用具配布、4人前後のグループを作る。	○	○							
	②	ゲーム (1)オープニング	8分	用具等の確認と説明。								○	
		(2)教示と手順説明	7分	資料②のようこそシートの音読、資料③で実施手順を説明する。								○	
		(3)実施と進行(スタート～25歳)	15分	資料⑧スタート～25歳の実施、資料④結果・得点シートに点数を記入する。	○	○	○	○	○			○	
		(4)実施と進行(25～30歳)	10分	資料⑨25～30歳の実施、資料⑥結果・得点シートに点数を記入する。	○	○	○	○	○			○	
	③	振り返りとディスカッション											
		(1)個人ワーク記入	10分	資料⑪新人期・資料⑫一人前期の同時振り返り。			○	○	○	○			
		(2)グループディスカッション	20分	資料⑪新人期と資料⑫一人前期に分けて実施。	○	○	○	○	○	○			
		(3)発表	5分	代表班の発表。1～2班を選んで発表させる。					○				
④	講師からのまとめのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。								○		
評価観点	①	長期的な職業人生キャリアの見通しを付けることができたか。											
	②	長時間労働や失業など、社会生活での困難場面における対処策を学習することができたか。											
	③	グループでのコミュニケーションを通じて、他者への基礎的な関心を持てるようになったか。											
資料	①	1 キャリアシミュレーションプログラム 実施手順	参加者が手元に置き、手順を確認するためのシート。A4判(片面)										
	②	2A <表面> キャリアシミュレーションへようこそ!	ゲームの教示。A4判(両面)										
	③	2B <裏面> ゲームの手順	ゲームの手順とルールの解説。										
	④	3A <表面> 結果・得点シート(スタート～25歳)	ゲームの結果と得点を記録するシート。A4判(両面)										
	⑤	3B <裏面> 選択肢の後日談(スタート～25歳)	各選択肢を選んだ場合の後日談と配点。										
	⑥	4A <表面> 結果・得点シート(25～30歳)	ゲームの結果と得点を記録するシート。A4判(両面)										
	⑦	4B <裏面> 選択肢の後日談(25～30歳)	各選択肢を選んだ場合の後日談と配点。										
	⑧	5A <表面> ゲームシート(スタート～25歳)	「スタート～25歳」のゲーム盤。A3判(両面)										
	⑨	5B <裏面> ゲームシート(25～30歳)	「25～30歳」のゲーム盤。										
	⑩	6 サイコロシート	各自の進むマスを決めるためのシート。サイコロがあれば必要ない。										
	⑪	7A <表面> ふりかえりシート(新人期)	「スタート～25歳」の内容をふりかえるためのシート。										
	⑫	7B <裏面> ふりかえりシート(一人前期)	「25～30歳」の内容をふりかえるためのシート。										
	⑬	実施の手引き	授業担当者が事前にプログラムの内容を確認するために使用する。										
備考	話し合いの時間を多く取り、2コマで実施することもできる。												
	授業のねらいを変えれば幅広い学年で実施することができる。												
	事前にWebサイトから資料をダウンロードし、印刷しておく。												

【C-5】労働問題アドバイザーになろう（アルバイト）

その他(労働市場、労働法、ワークルールほか)				基礎的・汎用的能力									
テーマ	C-5 労働問題アドバイザーになろう(アルバイト)			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
ツール	TOKYOはたらくネット・ポケット労働法、その他(働くときのABC)												
ねらい	①	Webサイトにある労働関連法規の資料や「働くときのABC」を使ってアルバイト関連の問題について学ぶ。											
	②	話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。											
実施学年	3年生、4年生												
実施時期													
適正人数	20名～60名												
実施手順	学習の流れ		時間	留意事項									
	①	本時の説明	5分	本時のねらいと学習の流れについて説明する。									○
	②	実施の準備、グループづくり	5分	3～5名のグループをつくりまとまって座る。「働くときのABC」をグループごとに用意するか、Webに繋がる機器を使って「TOKYOはたらくネット」の労働関連資料・パンフレットダウンロードにある「ポケット労働法」にアクセスできるようにする。		○	○						○
	③	労働問題アドバイザーになろう(アルバイト)から各グループで例題を割り当てる	5分	くじ引きやジャンケンなどで10例題から選択させるようにする。		○	○						
	④	課題について労働法規関連資料を使って各グループで調べ学習を行う	30分	「働くときのABC」を使うか「どうなる?こんなトラブル!パート・アルバイト、派遣社員、契約社員で働く方のためのQ&A」「ポケット労働法」にアクセスし、課題の解決方法について調べ、適切なアドバイスを考える。						○	○		○
	⑤	グループ内での発表準備	5分	代表発表者を決め、2～3分間で発表できるように内容を協議する。		○	○			○	○		○
	⑥	グループ代表の発表	30分	グループの代表が例題についての解決策について発表する。ワークシート2を使って発表内容をメモする。		○	○						
	⑦	本時のまとめ	5分	例題調べや話し合いを通して気付いたことをまとめる。						○	○		
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。									
	評価観点	① 労働関連法規の資料を使ってアルバイトに関連する労働問題について学ぶことができたか。											
② 仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。													
資料	①	労働問題アドバイザーになろう(アルバイト)		労働問題の10例題を示したシート									
	②	労働問題アドバイザーになろう(アルバイト)ワークシート1		例示された労働問題を解決するためのワークシート									
	③	労働問題アドバイザーになろう(アルバイト)ワークシート2		発表をメモするためのワークシート									
	④	「ポケット労働法」		<a href="http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/siryo/pocket/index.html">http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/siryo/pocket/index.html</a>									
	⑤	「どうなる?こんなトラブル!パート・アルバイト、派遣社員、契約社員で働く方のためのQ&A」		<a href="http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/siryo/dounaru/index.html">http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/siryo/dounaru/index.html</a>									
	⑥	「働くときのABC」		公益社団法人 全国労働基準関係団体連合会(本体価格1500円+税)									
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。												
	授業で使える適切なWebサイトを事前に調べておくとよい。												

【C-6】労働問題アドバイザーになろう（就職問題）

その他(労働市場、労働法、ワークルールほか)				基礎的・汎用的能力							勤労観・職業観		
テーマ	C-6 労働問題アドバイザーになろう(就職問題)			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力		創造力	意欲・態度
ツール	TOKYOはたらくネット・ポケット労働法、その他(働くときのABC)												
ねらい	① Webサイトにある労働関連法規の資料や「働くときのABC」を使って就職関連の問題について学ぶ。 ② 話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。												
実施学年	3年生、4年生												
実施時期													
適正人数	20名～60名												
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項									
	①	本時の説明	5分	本時のねらいと学習の流れについて説明する。								○	
	②	実施の準備、グループづくり	5分	3～5名のグループをつくりまとめて座る。「働くときのABC」をグループごとに用意するか、Webに繋がる機器を使って「TOKYOはたらくネット」の労働関連資料・パンフレットダウンロードにある「ポケット労働法」にアクセスできるようにする。	○	○						○	
	③	労働問題アドバイザーになろう(就職問題)から各グループで例題を割り当てる	5分	くじ引きやジャンケンなどで10例題から選択させるようにする。	○	○							
	④	課題について労働法規関連資料を使って各グループで調べ学習を行う	30分	「働くときのABC」を使うか「どうなる?こんなトラブル!パート・アルバイト、派遣社員、契約社員で働く方のためのQ&A」「ポケット労働法」にアクセスし、課題の解決方法について調べ、適切なアドバイスを考える。				○	○		○	○	
	⑤	グループ内での発表準備	5分	代表発表者を決め、2～3分間で発表できるように内容を協議する。	○	○			○		○		○
	⑥	グループ代表の発表	30分	グループの代表が例題についての解決策について発表する。ワークシート2を使って発表内容をメモする。	○	○							
	⑦	本時のまとめ	5分	例題調べや話し合いを通して気付いたことをまとめる。				○	○				
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。									
評価観点	① 労働関連法規の資料を使って就職に関連する労働問題について学ぶことができたか。												
	② 仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。												
資料	① 労働問題アドバイザーになろう(就職問題)	労働問題の10例題を示したシート											
	② 労働問題アドバイザーになろう(就職問題)ワークシート1	例示された労働問題を解決するためのワークシート											
	③ 労働問題アドバイザーになろう(就職問題)ワークシート2	発表をメモするためのワークシート											
	④ 「ポケット労働法」	<a href="http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/siryo/pocket/index.html">http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/siryo/pocket/index.html</a>											
	⑤ 「どうなる?こんなトラブル!パート・アルバイト、派遣社員、契約社員で働く方のためのQ&A」	<a href="http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/siryo/dounaru/index.html">http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/siryo/dounaru/index.html</a>											
	⑥ 「働くときのABC」	公益社団法人 全国労働基準関係団体連合会(本体価格1500円+税)											
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。												
	授業で使える適切なWebサイトを事前に調べておくとよい。												

【C-7】ワーク・ルールについて学ぶ(TOKYO はたらく ネット・ポケット労働法)

その他(労働市場、労働法、ワークルールほか)				基礎的・汎用的能力									
テーマ	C-7 ワーク・ルールについて学ぶ			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
ツール	TOKYOはたらくネット・ポケット労働法、その他(働くときのABC)												
ねらい	①	Webサイトにある労働関連法規の資料や「働くときのABC」を使ってワークルールについて学ぶ。											
	②	話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。											
実施学年	3年生、4年生												
実施時期													
適正人数	20名～60名												
実施手順	学習の流れ		時間	留意事項									
	①	本時の説明	5分	本時のねらいと学習の流れについて説明する。									○
	②	実施の準備、グループづくり	5分	3～5名のグループをつくりまとめて座る。「働くときのABC」をグループごとに用意するか、Webに繋がる機器を使って厚生労働省の「知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識」や「TOKYOはたらくネット」の「ポケット労働法」にアクセスできるようにする。		○	○						○
	③	「ワークルールについて学ぶ」から各グループで課題を割り当てる	5分	くじ引きやジャンケンなどで10課題から選択させるようにする。									
	④	課題について労働法規関連資料を使って各グループで調べ学習を行う	30分	「働くときのABC」を使うか「知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識」「ポケット労働法」にアクセスし、課題の解決方法について調べ、適切なアドバイスを考える。		○	○	○	○	○			○
	⑤	グループ内での発表準備	5分	代表発表者を決め、2～3分間で発表できるように内容を協議する。		○	○		○	○			○
	⑥	グループ代表の発表	30分	グループの代表が例題についての解決策について発表する。ワークシート2を使って発表内容をメモする。		○	○						○
	⑦	本時のまとめ	5分	例題調べや話し合いを通して気付いたことをまとめる。				○	○				
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。									○
	評価観点	①	労働関連法規の資料を使ってワークルールについて学ぶことができたか。										
②		仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。											
資料	①	ワークルールについて学ぶ	ワークルールについての10課題を示したシート										
	②	ワークルールについて学ぶ・ワークシート1	示されたワークルールの課題を解決するためのワークシート										
	③	ワークルールについて学ぶ・ワークシート2	発表をメモするためのワークシート										
	④	「ポケット労働法」	<a href="http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/sirvo/pocket/index.html">http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/sodan/sirvo/pocket/index.html</a>										
	⑤	「知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識」	<a href="http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunva/kovou_roudou/roudouze_npan/roudouhou/">http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunva/kovou_roudou/roudouze_npan/roudouhou/</a>										
	⑥	「働くときのABC」	公益社団法人 全国労働基準関係団体連合会(本体価格1500円+税)										
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。												
	授業で使える適切なWebサイトを事前に調べておくとよい。												

【C-8】就職率、離職率や労働市場について学ぶ

その他(労働市場、労働法、ワークルールほか)				基礎的・汎用的能力									
テーマ	C-8 就職率、離職率や労働市場について学ぶ			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観
ツール	若者雇用関連データ												
ねらい	① 労働市場を理解し、就職後の適応を図る。 ② 話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。												
実施学年	3年生、4年生												
実施時期													
適正人数	20名～60名												
実施手順	学習の流れ		時間	留意事項									
	①	本時の説明	5分	本時のねらいと学習の流れについて説明する。「就職率、離職率や労働市場について学ぶ」を配布する。									
	②	実施の準備、グループづくり	5分	○	○								○
	③	「就職率、離職率や労働市場について学ぶ」から各グループで課題を割り当てる	5分	くじ引きやジャンケンなどで10課題から選択させるようにする。									
	④	課題について労働法規関連資料を使って各グループで調べ学習を行う	30分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑤	グループ内での発表準備	5分	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	⑥	グループ代表の発表	30分	○	○								○
	⑦	本時のまとめ	5分			○	○						
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。									
評価観点	① 労働市場を理解し、就職後の適応を図ることができそうか。												
	② 仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。												
資料	①	就職率、離職率や労働市場について学ぶ	労働市場関係についての10課題を示したシート										
	②	就職率、離職率や労働市場について学ぶ・ワークシート1	示されたワークルールの課題を解決するためのワークシート										
	③	就職率、離職率や労働市場について学ぶ・ワークシート2	発表をメモするためのワークシート										
	④	厚生労働省「若年者雇用対策」	<a href="http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunva/koyou_roudou/koyou/jakunen/index.html">http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunva/koyou_roudou/koyou/jakunen/index.html</a>										
	⑤	厚生労働省「若者雇用関連データ」	<a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/12.html">http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/12.html</a>										
	⑥	「ハローワークインターネットサービス」	<a href="https://www.hellowork.go.jp/">https://www.hellowork.go.jp/</a>										
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。 授業で使える適切なWebサイトを事前に調べておくとよい。												

【C-9】就職のための求人情報と応募書類について知る

その他(労働市場、労働法、ワークルールほか)				基礎的・汎用的能力										
テーマ	C-9 就職のための求人情報と応募書類について知る			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応	キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観	
ツール	ハローワークインターネットサービス													
ねらい	① ハローワークインターネットサービスを使って求人情報を収集し、応募書類の内容や書き方への理解を深める。 ② 話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。													
実施学年	4年生													
実施時期														
適正人数	20名～60名													
実施手順	学習の流れ		時間	留意事項										
	①	本時の説明	5分	Webに繋がる機器を使ってハローワークインターネットサービスにアクセスす										
	②	ワークシート「1. 求人情報検索のしかた」	15分	○	○		○	○			○	○		
	③	「2. 履歴書・職務経歴書の書き方 (1) 履歴書作成の注意点」	10分	○	○						○		○	
	④	「2. (2) 履歴書作成の基本」	10分	○	○								○	
	⑤	「2. (3) 履歴書の記載項目」	20分	○	○			○		○				
	⑥	「3. 履歴書を書いてみよう」	10分				○	○	○					○
	⑦	「4. グループ内発表」	10分	○	○									
	⑧	「5. 話し合いのまとめ」	5分						○			○		
	⑨	講師からのコメント	5分											○
評価観点	① ハローワークインターネットサービスを使って求人情報を収集し、応募書類の内容や書き方への理解を深めることができた													
	② 仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。													
資料	①	ハローワークインターネットサービスによる求人情報と応募書類の理解	授業用ワークシート											
	②	スマートフォン、場タブレット、パソコン等Web接続機器	Wi-Fi環境											
	③	履歴書	人数分をプリントする											
	④	ハローワークインターネットサービス	<a href="https://www.hellowork.go.jp/">https://www.hellowork.go.jp/</a>											
	⑤													
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。													
	授業で使える適切なWebサイトを事前に調べておくとよい。													



【C-10】 学生用ジョブ・カードについて知る

その他(労働市場、労働法、ワークルールほか)			基礎的・汎用的能力					論理的思考力	創造力	意欲・態度	勤労観・職業観	
テーマ	ツール	ねらい	人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応					キャリアプラン
	C-10 ジョブ・カード(キャリア・プランシート(就業経験のない方、学卒者等用))について知る											
		① ジョブ・カード制度総合サイトを使ってキャリア・プランシート(就業経験のない方、学卒者等用)について学ぶ。 ② 話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。										
実施学年	4年生											
実施時期												
適正人数	20名～60名											
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項								
	①	本時の説明	5分	Webに繋がる機器を使ってジョブ・カード制度総合サイトにアクセスする。								
	②	ワークシート「1. (1)ジョブ・カード様式1-2キャリア・プランシート(就業経験のない方、学卒者等用)の内容」	10分	○	○							○
	③	「1. (2)ジョブ・カード様式1-2キャリア・プランシート(就業経験のない方、学卒者等用)の活用」	10分	○	○						○	
	④	「1. (3)ジョブ・カード様式1-2キャリア・プランシート(就業経験のない方、学卒者等用)を書く」	40分	記入例を参考にしながら書く。								
	⑤	「2. 様式1-2キャリア・プランシート(就業経験のない方、学卒者等用)の振り返り」	5分			○	○	○		○		○
	⑥	「3. グループ内発表」	10分	○	○							○
	⑦	「4. 話し合いのまとめ」	5分					○			○	
	⑧	講師からのコメント	5分	本時のねらいが達成できたか確認する。								
評価観点	①	キャリア・プランシート(就業経験のない方、学卒者等用)についての理解を深めることができたか。										
	②	仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。										
資料	①	職業訓練や若者支援のしくみを学ぶ	授業用ワークシート									
	②	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器	Wi-Fi環境									
	③	ジョブ・カード様式1-2キャリア・プランシート(就業経験のない方、学卒者等用)	人数分をプリントする									
	④	ジョブ・カード制度総合サイト	<a href="http://jobcard.mhlw.go.jp/">http://jobcard.mhlw.go.jp/</a>									
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。											
	授業で使える適切なWebサイトを事前に調べておくとよい。											

【C-11】職業訓練について学ぶ

その他(労働市場、労働法、ワークルールほか)				基礎的・汎用的能力					勤労観・職業観				
テーマ	C-11 職業訓練について学ぶ			人間関係	社会形成	自己理解	自己管理	課題対応		キャリアプラン	論理的思考力	創造力	意欲・態度
ツール	厚生労働省「職業訓練(就職に向けてスキルを身につけたい方へ)」												
ねらい	① 労働市場を理解し、就職後の適応を図る。 ② 話し合いを通して仲間との相互理解やコミュニケーション能力を養う。												
実施学年	3年生、4年生												
実施時期													
適正人数	20名～60名												
実施手順		学習の流れ	時間	留意事項									
	①	本時の説明	5分	本時のねらいと学習の流れについて説明する。「職業訓練について学ぶ」を配布する。									
	②	実施の準備、グループづくり	5分	○	○							○	
	③	「職業訓練について学ぶ」から各グループで課題を割り当てる	5分	くじ引きやジャンケンなどで10課題から選択させるようにする。									
	④	課題についてWeb資料を使って各グループで調べ学習を行う	30分	○	○		○	○		○		○	○
	⑤	グループ内での発表準備	5分	○	○			○		○			○
	⑥	グループ代表の発表	30分	○	○								○
	⑦	本時のまとめ	5分				○	○					
	⑧	講師からのコメント	5分										○
評価観点	① 労働市場を理解し、就職後の適応を図ることができそうか。												
	② 仲間との相互理解やコミュニケーション能力が高まったか。												
資料	①	職業訓練について学ぶ	職業訓練関連についての10課題を示したシート										
	②	職業訓練について学ぶ・ワークシート1	示された職業訓練に関する課題を解決するためのワークシート										
	③	職業訓練について学ぶ・ワークシート2	発表をメモするためのワークシート										
	④	厚生労働省「職業訓練(就職に向けてスキルを身につけたい方へ)」	<a href="http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunva/kovou_roudou/shokugyo_unouryoku/training_work/index.html">http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunva/kovou_roudou/shokugyo_unouryoku/training_work/index.html</a>										
	⑤	「ハローワークインターネットサービス」	<a href="https://www.hellowork.go.jp/">https://www.hellowork.go.jp/</a>										
備考	スマートフォン、タブレット、パソコン等Web接続機器を持っていない学生のために貸し出し用タブレットなどの準備も必要。												
	授業で使える適切なWebサイトを事前に調べておくとよい。												